

大学生の化粧行動の実態解明と 社会的スキル・性役割・自意識・他者意識との関連性

佛教大学大学院 平松 隆 円

要 旨

大学生の化粧行動の実態を解明し、社会的スキル、公的自意識、男性性、女性性、内的他者意識、外的他者意識、空想的他者意識という個人差要因との関連性を明らかにするため、男女大学生378名を対象に質問紙調査を実施した。男女それぞれを対象とする化粧行動を23項目設定し年間の化粧行動回数を回答させた結果、カ

ラーリング以外の化粧行動について男女差がみられた。また個人差要因との関連性を検討した結果、化粧行動ごとに異なる個人差要因が関連することが明らかとなった。

キーワード：化粧心理、化粧行動、社会的スキル、性役割、自意識、他者意識

I はじめに

女性と同様に日常的な身体や顔への手入れを行う男性が増加している。しかしながら、化粧を行う男性が増加すると同時に、化粧を行わない女性も増加している¹。

化粧の表現法や期待は、時代、文化、社会、流行などによって変化する。例えば1980年代前半までの男性化粧は、坂本龍一や沢田研二らに代表される一部の音楽家や芸能人たちが採用するのみであった²。一般の多くの人々に男性化粧が認知されるようになったのは、1985年に男性化粧品が日本において発売されたことがきっかけであるといわれている³。当時、美容業界が意図した化粧品演出による男性像はチャールズ・ブロンソンのような「肉体的な力強いワイルド」な男らしさであり、その表現方法は「日焼け色のファンデーションに太い眉」というものであった。しかしながら、女性や若い男性が求めていた男性像はSMAPの木村拓哉のよう

な「清潔感のある爽やかな」男らしさであった。そのため、美容業界と若者とのあいだの化粧期待のギャップから当時の男性化粧が人々に広く受け入れられることはなく、その後、男性化粧はメイクアップから保湿やクレンジングといったスキンケアとして行われるようになった。1990年代後半に入り、女子高生たちのあいだで「ガングロ」や「マンバ」とよばれる「顔をファンデーションで黒く、目元や唇を白く塗る」化粧が流行すると、2003年頃には渋谷センター街や梅田HEP NAVIOに出没し、この「ガングロ」や「マンバ」化粧を行う「センター GUY」や「ナビ男」とよばれる若い男性たちの姿もみられるようになり、一部の若い男性を中心にメイクアップ化粧が流行した。他方、女性化粧は1960年代の貿易自由化とともに、海外の色彩豊かな化粧品が日本に登場し始めると、「目と眉を強調」した「カリプソ・メイク」などが行われた。しかしながら、1970年代からはウーマンリブ運

動の影響を受け、なぜ女性だけが化粧をしなくてはいけないのかという批判のもと、素颜状態の女性の姿も多くみられるようになった。

我々が化粧を行う場合、そこには単なる流行性やファッション性だけが目的となるわけではない。飽戸⁴は化粧行動の起因となる化粧の機能として「対自的機能」と「対他的機能」を明らかにしている。対自的機能とは化粧の行為者自身の効果をめぐる化粧機能であり、また対他的機能とは同性・異性に関わらず他者や社会を意識することによって生じる化粧機能である。すなわち「化粧をすることが楽しい」「気分がよくなる」という主体的な楽しみや効果としての側面と、「男性からも女性からもきれいだと思われたい」「改まった場ではきちんと化粧をしないとおかしい」という他者からの目を意識しての印象管理の側面が化粧の機能としている。同様に松井ら⁵は、化粧の役割を「他者への印象管理」と「自己補完」とする。すなわち化粧行動には、自己の心身に対する自己効用だけでなく、対人関係を円滑に行うため自己をよりよくみせたいなどの対人相互作用の役割が存在する。

このように自己効用や対人相互作用として機能しつつも、個人がどのような化粧行動を採用するかについては社会や他者からの期待だけではなく個人における性格特性、すなわち個人差要因の影響も小さくはない。個人差要因については、これまで主に自意識や性役割や社会的スキルと化粧行動との関連が検討されている。それらの結果を要約すると、Cash & Cash⁶やMiller & Cox⁷は、公的自意識の高い女性ほど化粧の利用度や程度が高いことを明らかにしている。松井⁸は、自意識にともなう外向性と内向性によって化粧行動が相違するかという研究において、外向性の高い女性ほどメイクアップ化粧品利用率が高く、内向性の高い女性ほど基礎化粧品利用率が高いということを明らかにし

ている。また平松・牛田⁹の大学生を対象とした研究において、男女共通して公的自意識、女子学生は女性性の高い者、男子学生は男性性の高い者ほど、より化粧関心と化粧行動を示すということを明らかにしている。さらに社会的スキルについて大坊¹⁰は、女子学生について化粧との正の相関を明らかにしている。しかしながら、これらの研究は主に女性を対象に検討されたものであり、男性化粧に対する個人差要因についての検討は、平松・牛田を除いてほとんど行われていない。

本研究では、男女大学生を対象として化粧行動の実態を明らかにするとともに、先行研究を参考に社会的スキルや性役割や自意識、またこれまで化粧行動との関連がほとんど検討されることのなかった他者意識といった個人差要因により化粧行動がいかに異なるかを検討する。

II 調査

1) 調査時期と方法および被調査者

2003年12月に、複数の京都と滋賀の4年制大学の学生を対象に集合法によって質問紙調査を行った。有効回答者数は男子149名、女子229名、合計378名であり、彼らの平均年齢は男子20.12歳 (SD = 1.31)、女子19.59歳 (SD = 0.88) である。

2) 社会的スキル

社会的スキルとは、対人関係を円滑に運ぶために役立つスキルのことであり¹¹、対人関係について初歩的なスキル、高度のスキル、感情処理のスキル、攻撃に代わるスキル、ストレスを処理するスキル、計画スキルの6つのスキルが含まれる1次元の性格特性である。

本研究では、菊池¹²のKiSS18を用い、「あてはまらない (1)」から「あてはまる (5)」までの5件法で回答させ、得点化した。

3) 性役割

性別は、生物学的性であるセックス（男性・女性）と心理・社会的性であるジェンダー（男性性・女性性）に大別される。性役割とは、ジェンダーが含有する認知的枠組みにおける男女それぞれがどのように行動すべきかという社会からの期待において、男女にそれぞれふさわしいとみなされる行動やパーソナリティに関する社会的期待・規範およびそれらに基づく行動であるとされる¹³。性役割に関する自己概念において男性的であるとする「男性性」、女性的であるとする「女性性」の2次元について検討する。

本研究では、東^{14,15}によって邦訳されたBSRI (Bem Sex Role Inventory) から、社会的望ましさの尺度項目を省いた40項目を用いて、「あてはまらない (1)」から「あてはまる (5)」までの5件法で回答させた。その後、確認のため因子分析（主因子法・Varimax回転）を行い、既存の尺度である2因子を得た。内的整合性及び因子構造の点から不適切な「危険を犯すことをいとわない」「個人主義である」「分析好き」「人に頼らず生きていけると思う」「明るい」「おだてにのりやすい」「言葉遣いがいい」「はにかみ屋である」「女性的である」「だまされやすい」の項目を除去し、男性性16項目、女性性14項目でそれぞれ得点化した。

4) 自意識

自意識とは、自分自身にどの程度注意を向けやすいかに関する性格特性である¹⁶。自分の外見や他者に対する行動など外から見える自己の側面に対する注意を向ける程度の個人差の「公的自意識」、自分の内面や気分など外からみえない自分の側面に注意を向ける程度の個人差の「私的自意識」の2次元を検討する。

本研究では、菅原¹⁷の自意識尺度の21項目を用い、「あてはまらない (1)」から「あてはまる (5)」までの5件法で回答させた。その後、

確認のため因子分析（主因子法・Varimax回転）を行い、既存の尺度である2因子を得た。内的整合性及び因子構造の点から不適切な「世間体など気にならない」「自分自身の内面のことにはあまり関心がない」の項目を除去し、公的自意識10項目、私的自意識9項目でそれぞれ得点化した。

5) 他者意識

他者意識とは他者への注意、関心、意識が向けられた状態をいい、他者への注意の向けやすさに関する性格特性のことである¹⁸。他者の気持ちや感情などの内面情報を敏感にキャッチし理解しようとする意識や関心である「内的他者意識」、他者の化粧、服装、体形、スタイルなどの外面に現れた特徴への注意や関心である「外的他者意識」、他者について考え・空想をめぐらせその空想的イメージに注意を焦点付けそれを追いかける傾向である「空想的他者意識」の3次元を検討する。

本研究では、辻¹⁸の他者意識尺度の15項目を用い、「あてはまらない (1)」から「あてはまる (5)」までの5件法で回答させた。その後、確認のため因子分析（主因子法・Varimax回転）を行い、既存の尺度である3因子を得た。内的整合性及び因子構造の点から不適切な「人のことをあれこれ考えていることが多い」の項目を除去し、外的他者意識4項目、内的他者意識7項目、空想的他者意識3項目でそれぞれ得点化した。

6) 化粧行動

平松・牛田¹⁹の化粧行動項目を参考に、男女それぞれを対象とする化粧行動を計23項目選定した。そして、それらの化粧行動について、日常どのくらい行っているかを「しない (0)」から「毎日する (365)」までの年間の行動回数を回答させ、得点化した。

7) デモグラフィック変数

被調査者の性別と年齢を回答させた。

III 結果

1) 個人差要因の基礎統計量

Table 1 に各個人差要因の平均値と標準偏差を示す。それぞれについて、性別を独立変数とする1要因の分散分析を行ったところ、男性性(男性>女性: $F(1,303) = 7.887$ $p < 1\%$)、公的自意識(男性<女性: $F(1,303) = 18.078$ $p < 0.1\%$)、私的自意識(男性<女性: $F(1,303) = 4.274$ $p < 5\%$)、外的他者意識(男性<女性:

$F(1,303) = 8.660$ $p < 1\%$)について有意な主効果がみられた。

すなわち、男性は女性よりも男性性が高く公的自意識、私的自意識、外的他者意識が低いことがわかった。

2) 男女別化粧行動の基礎統計量

男女別に化粧行動の平均値と標準偏差を検討した結果 (Table 2)、男性が週1回以上行う化粧行動は8項目、女性では17項目であった。

男性は「髪スタイリング」を、女性は「顔クレンジング」「顔保湿」「唇保湿」「ベースメイク」「アイメイク」をほぼ毎日行っていることがわかった。各項目の平均値をみると、男性では「髪スタイリング」が最も高く、「髪トリートメント」「顔

Table 1 個人差要因の基礎統計量と男女差 (分散分析: F値と有意水準)

	男性		女性		性差	
	平均値	SD	平均値	SD	F値	有意水準
社会的スキル	3.10	0.65	3.04	0.50	0.75	
男性性	3.28	0.70	3.08	0.58	7.89	**
女性性	3.42	0.66	3.46	0.52	0.38	
公的自意識	3.42	0.73	3.74	0.59	18.08	***
私的自意識	3.37	0.62	3.52	0.63	4.27	*
内的他者意識	3.33	0.81	3.44	0.74	1.79	
外的他者意識	3.09	0.91	3.36	0.72	8.66	**
空想的他者意識	3.19	0.90	3.23	0.93	0.15	

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$

Table 2 化粧行動の平均値・標準偏差・t検定結果 (男女別)

	男性		女性		性差	
	平均値	SD	平均値	SD	t値	有意水準
顔保湿	67.01	134.00	296.85	132.74	-16.13	***
ベースメイク	1.45	10.55	273.71	140.81	-28.81	***
髪トリートメント	158.27	165.47	251.46	148.01	-5.46	***
唇保湿	86.64	150.25	295.72	138.38	-13.70	***
UV予防	5.29	33.43	197.50	164.10	-16.74	***
香水	65.32	124.90	100.70	143.95	-2.50	*
マニキュア	2.97	30.60	54.20	110.78	-6.55	***
顔クレンジング	127.42	171.69	322.12	111.52	-12.04	***
アイメイク	0.36	4.33	269.58	141.96	-28.30	***
歯のホワイトニング	60.60	132.49	99.76	161.99	-2.52	*
ピアス/イヤリング	19.55	79.18	161.88	172.12	-10.73	***
髪スタイリング	188.80	168.63	297.49	132.75	-6.51	***
デオドラント	44.54	107.80	135.78	156.33	-6.58	***
手・足・肘・膝保湿	22.88	84.90	156.69	165.28	-10.20	***
頭皮クレンジング	47.87	121.62	90.78	153.31	-2.96	**
アイトリートメント	5.44	43.04	44.15	116.90	-4.48	***
エクステンション	0.37	4.35	8.69	54.02	-2.30	*
脱毛	6.92	44.56	95.96	114.34	-10.41	***
整眉	41.41	76.48	137.65	116.80	-9.47	***
カラーリング	10.90	52.40	17.32	67.54	-0.97	
バック	6.06	33.25	26.10	65.72	-3.85	***
パーマ	1.01	5.73	8.58	49.55	-2.25	*
オイルコントロール	60.15	122.14	206.37	165.72	-9.70	***
全項目	44.84	82.69	154.31	127.16	-9.27	***

*** $p < .001$, ** $p < .01$, * $p < .05$

クレンジング」が相対的に高いことがわかった。最も低いものは「アイメイク」であり、「パーマ」「ベースメイク」「マニキュア」が相対的に低いことがわかった。女性では「顔クレンジング」が最も高く、「髪スタイリング」「顔保湿」「唇保湿」「ベースメイク」「アイメイク」「髪トリートメント」が相対的に高いことがわかった。最も低いものは「パーマ」であり、「エクステンション」「カラーリング」「パック」が相対的に低いことがわかった。

次に化粧行動の男女差をLevene検定により等分散性を確認後、t検定で調べた。その結果、化粧行動23項目の全項目を合計した平均値は男性44.84、女性154.31と女性の方が男性より高く、0.1%水準の有意差がみられた。各化粧行動項目においては「カラーリング」では有意差がみられなかったが、「香水」「歯のホワイトニング」「エクステンション」「パーマ」においては5%水準の、「頭皮クレンジング」においては1%水準の、その他は0.1%水準の有意差がみられた。

以上の結果から、相対的に男性は髪に関する化粧行動を、女性はメイクアップに関する化粧行動を相対的に行っていることがわかった。「カラーリング」においては男女差がなく月1回程度行っているが、その他の化粧行動については顕著な男女差があることがわかった。そのため、より詳しく内容を検討し男女の違いを明確にするために以後の分析は男女別に行う。

3) 化粧行動と個人差要因との相関関係

化粧行動と個人差要因の関連性をみるために、男女別に相関分析を行った。

男性では (Table 3)、社会的スキルが「UV予防」と1%水準の正の、「髪スタイリング」と5%水準の正の有意な相関を示した。男性性が「髪スタイリング」と1%水準の正の有意な相関を示した。公的自意識が「髪スタイリング」と5%水準の正の有意な相関を示した。内的他者意識が「髪スタイリング」と1%水準の正の、「手・足・肘・膝保湿」と5%水準の正の有意な相関を示した。外的他者意識が「髪スタイリング」と1%水準の正の、「唇保湿」「マニキュア

Table 3 男性の化粧行動と個人差要因との相関

	社会的スキル	男性性	女性性	公的自意識	私的自意識	内的他者意識	外的他者意識	空想的他者意識
顔保湿	0.01	0.05	0.02	0.00	-0.16	-0.08	0.10	0.06
ベースメイク	-0.13	0.02	0.02	0.00	-0.01	-0.11	-0.06	-0.05
髪トリートメント	0.13	-0.04	0.05	0.16	0.05	0.11	0.14	0.05
唇保湿	0.08	0.12	0.00	0.11	-0.05	0.11	0.19 *	0.08
UV予防	0.23 **	-0.05	-0.04	-0.11	-0.02	0.00	-0.02	-0.05
香水	0.08	0.09	-0.05	-0.06	-0.12	0.01	0.10	-0.06
マニキュア	0.06	0.02	0.09	0.14	0.06	0.06	0.17 *	0.15
顔クレンジング	0.12	0.07	0.11	0.11	0.02	0.12	0.10	0.05
アイメイク	-0.01	-0.07	-0.11	-0.08	-0.05	-0.07	-0.03	-0.11
歯のホワイトニング	-0.07	-0.08	-0.04	0.05	0.05	-0.03	0.11	-0.04
ピアス/イヤリング	0.12	0.03	-0.05	-0.09	-0.13	0.04	-0.02	-0.08
髪スタイリング	0.22 *	0.24 **	0.13	0.22 *	0.14	0.25 **	0.22 **	0.18 *
デオドラント	0.05	0.07	0.07	-0.02	0.03	0.02	0.16	0.00
手・足・肘・膝保湿	-0.01	0.06	0.08	0.09	0.01	0.18 *	0.04	0.03
頭皮クレンジング	0.10	-0.01	0.02	-0.06	-0.04	0.02	0.15	-0.05
アイトリートメント	-0.12	-0.08	-0.05	-0.08	-0.05	-0.04	-0.05	-0.01
エクステンション	-0.01	-0.07	-0.11	-0.08	-0.05	-0.06	-0.03	-0.11
脱毛	0.14	0.06	0.03	0.03	-0.01	-0.05	0.07	0.05
整眉	-0.03	-0.07	-0.06	0.05	0.00	-0.03	0.16	0.07
カラーリング	-0.09	-0.03	-0.01	0.04	-0.05	0.05	0.09	0.02
パック	-0.03	-0.05	-0.03	-0.13	-0.04	0.02	-0.02	-0.05
パーマ	0.15	-0.05	-0.07	-0.04	-0.05	-0.03	0.06	-0.03
オイルコントロール	0.08	-0.01	-0.03	-0.06	-0.01	0.10	0.03	-0.07

***p < .001, **p < .01, *p < .05

ア」と5%水準の正の有意な相関を示した。空想的他者意識が「髪スタイリング」と5%水準の正の有意な相関を示した。他方、女性では(Table 4)、社会的スキルが「唇保湿」「アイメイク」と1%水準の正の有意な相関を示した。男性性が「唇保湿」と5%水準の正の有意な相関を示した。女性性が「顔保湿」と1%水準の正の有意な相関を示した。公的自意識が「唇保湿」と5%水準の正の、「髪トリートメント」と5%水準の負の有意な相関を示した。内的他者意識が「唇保湿」と5%水準の正の、「髪トリートメント」と5%水準の負の有意な相関を示した。外的他者意識が「アイメイク」「ピアス/イヤリング」と1%水準の正の、「ベースメイク」「髪スタイリング」と5%水準の正の、「パーマ」と5%水準の負の有意な相関を示した。空想的他者意識が「髪トリートメント」と5%水準の負の有意な相関を示した。

以上の結果から、男性では社会的スキルが高い者ほど「UV予防」「髪スタイリング」を一層行い、男性性が高い者ほど「髪スタイリング」

を一層行い、公的自意識が高い者ほど「髪スタイリング」を一層行い、内的他者意識が高い者ほど「髪スタイリング」「手・足・肘・膝保湿」を一層行い、外的他者意識が高い者ほど「唇保湿」「マニキュア」「髪スタイリング」を一層行い、空想的他者意識が高い者ほど「髪スタイリング」を一層行うという関連性のあることがわかった。他方、女性では社会的スキルが高い者ほど「唇保湿」「アイメイク」を一層行い、男性性が高い者ほど「唇保湿」を一層行い、女性性が高い者ほど「唇保湿」を一層行い、公的自意識が高い者ほど「髪トリートメント」を行わず「唇保湿」を一層行い、内的他者意識が高い者ほど「髪トリートメント」を行わず「唇保湿」を一層行い、外的他者意識が高い者ほど「パーマ」を行わず「ベースメイク」「アイメイク」「ピアス/イヤリング」「髪スタイリング」を一層行い、空想的他者意識が高い者ほど「髪トリートメント」を行わないという関連性のあることがわかった。

Table 4 女性の化粧行動と個人差要因との相関

	社会的スキル	男性性	女性性	公的自意識	私的自意識	内的他者意識	外的他者意識	空想的他者意識
顔保湿	0.05	-0.01	0.06	0.04	0.00	-0.08	0.05	0.03
ベースメイク	0.07	-0.07	0.09	0.12	-0.08	0.02	0.17 *	0.10
髪トリートメント	-0.05	0.09	-0.04	-0.17 *	-0.11	-0.17 *	-0.05	-0.14 *
唇保湿	0.19 **	0.17 *	0.22 **	0.14 *	0.12	0.14 *	0.03	0.06
UV予防	0.11	0.01	0.13	0.01	-0.03	-0.04	0.04	-0.01
香水	0.00	0.01	0.00	0.06	0.08	-0.07	0.04	0.10
マニキュア	-0.01	-0.09	-0.01	0.04	-0.08	-0.01	0.05	0.01
顔クレンジング	0.10	0.01	0.04	0.04	0.03	-0.03	0.10	0.00
アイメイク	0.19 **	0.08	0.04	0.06	-0.02	0.04	0.21 **	0.13
歯のホワイトニング	-0.01	0.03	-0.05	-0.07	-0.07	-0.05	-0.05	-0.05
ピアス/イヤリング	0.05	-0.02	-0.03	0.09	-0.03	-0.09	0.20 **	0.04
髪スタイリング	0.13	-0.06	-0.06	-0.07	-0.12	-0.12	0.14 *	-0.13
デオドラント	-0.01	-0.01	-0.03	-0.03	-0.07	-0.08	-0.01	0.08
手・足・肘・膝保湿	0.00	0.06	0.04	0.00	0.07	-0.02	-0.03	-0.05
頭皮クレンジング	-0.10	0.03	-0.05	-0.01	0.04	-0.02	-0.13	0.08
アイトリートメント	-0.03	0.06	0.02	-0.04	0.04	-0.09	-0.12	0.00
エクステンション	0.08	0.06	0.04	-0.03	-0.01	0.02	-0.07	-0.06
脱毛	0.04	0.08	-0.04	-0.08	-0.03	0.00	-0.06	-0.08
整眉	0.06	0.03	-0.04	0.03	-0.01	-0.13	-0.08	-0.03
カラーリング	-0.01	0.00	0.02	-0.07	-0.01	-0.06	-0.09	-0.07
バック	0.01	0.02	-0.06	-0.06	-0.03	-0.03	-0.10	-0.08
パーマ	0.07	0.04	0.04	-0.06	0.06	-0.04	-0.16 *	-0.04
オイルコントロール	0.10	0.07	-0.10	0.01	-0.01	0.03	0.03	-0.03

*** p < .001, ** p < .01, * p < .05

4) 化粧行動を規定する個人差要因

次に化粧行動が個人差要因によっていかに異なるかを検討するため、男女別に個人差要因それぞれの評定点の中央値に基づき、被調査者を高群と低群に分けた。そして化粧行動の評定平均値を従属変数とし、社会的スキルは1要因の、性役割と自意識は2要因の、他者意識は3

要因のそれぞれに基づく高低の2群を独立変数とする分散分析を行った。

Table 5に男性の個人差要因別平均値と標準偏差、Table 6に男性の化粧行動の個人差要因による差異に関する分散分析結果 (F値と有意水準)を示す。「香水」が、公的自意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、公的

Table 5 男性の化粧行動の平均値と標準偏差 (個人差要因別)

	社会的スキル		男性性		女性性		公的自意識		私的自意識		内的他者意識		外的他者意識		空想的他者意識		
	低群	高群	低群	高群													
顔保湿	平均	63.54	75.55	68.42	73.85	86.84	51.18	71.82	66.27	78.36	59.71	71.16	69.57	62.81	79.94	64.25	75.85
	SD	130.72	140.95	133.90	140.77	148.34	119.89	142.27	125.11	147.12	122.24	140.07	133.05	134.06	139.47	131.80	141.68
ベースメイク	平均	1.65	0.00	0.98	0.69	0.75	0.84	0.60	1.18	0.72	0.88	1.37	0.00	1.28	0.00	1.42	0.00
	SD	9.19	0.00	7.14	6.00	6.26	6.60	5.57	7.84	6.13	6.77	8.38	0.00	8.12	0.00	8.55	0.00
髪トリートメント	平均	138.08	189.81	152.55	159.87	171.41	145.65	137.25	194.34	149.76	167.22	152.87	160.48	146.17	176.80	149.11	169.02
	SD	165.61	164.62	167.33	164.23	172.87	156.64	161.60	166.44	165.47	167.09	167.92	163.28	162.41	169.47	158.55	173.84
唇保湿	平均	66.43	104.03	66.57	97.52	91.25	73.32	89.89	68.57	80.60	85.41	68.66	104.15	71.30	99.35	67.82	99.85
	SD	131.69	163.99	133.48	158.72	154.75	140.40	154.12	135.22	148.64	148.09	138.37	160.12	139.03	159.83	136.68	159.18
UV予防	平均	3.29	8.03	11.38	2.11	8.78	2.50	6.86	3.68	6.75	4.66	5.57	6.26	7.47	3.06	9.14	1.59
	SD	14.88	46.18	52.86	12.41	46.47	13.63	41.49	16.10	43.81	19.93	42.21	22.07	42.96	15.00	45.59	11.72
香水	平均	48.16	81.00	50.26	67.64	74.68	41.68	76.23	25.11	57.28	55.05	63.50	53.91	55.19	64.06	59.49	57.53
	SD	113.16	131.91	110.89	124.80	129.94	101.49	134.21	65.90	122.09	106.88	127.82	104.64	111.80	127.53	119.32	116.74
マニキュア	平均	1.02	0.00	0.98	0.16	0.75	0.19	0.60	0.27	0.89	0.00	0.68	0.22	0.64	0.24	0.88	0.00
	SD	6.70	0.00	7.14	1.39	6.26	1.52	5.57	1.81	6.27	0.00	5.96	1.63	5.78	1.68	6.23	0.00
顔クレンジング	平均	104.67	152.84	106.72	138.33	102.36	150.53	118.94	137.45	116.93	129.02	101.17	161.24	103.79	156.65	117.48	132.54
	SD	162.30	178.92	164.67	174.73	160.16	179.66	168.29	176.76	168.04	173.03	161.04	179.85	162.66	178.91	169.63	172.48
アイメイク	平均	0.83	0.00	0.98	0.00	0.75	0.00	0.60	0.00	0.72	0.00	0.68	0.00	0.64	0.00	0.71	0.00
	SD	6.55	0.00	7.14	0.00	6.26	0.00	5.57	0.00	6.13	0.00	5.96	0.00	5.78	0.00	6.09	0.00
歯のホワイトニング	平均	64.54	50.62	69.83	51.60	76.30	37.19	54.07	65.16	55.03	54.98	60.37	55.24	47.63	72.80	72.12	39.08
	SD	135.29	123.90	139.05	124.90	143.79	108.99	126.53	136.39	127.08	127.42	133.83	125.35	120.94	140.98	140.83	111.43
ピアス/イヤリング	平均	2.48	38.54	8.85	25.03	22.67	12.61	21.57	10.66	21.00	14.14	11.66	27.04	15.44	21.47	22.14	12.37
	SD	11.16	111.20	50.85	91.67	85.99	65.20	85.48	55.75	84.24	66.96	59.36	96.49	69.68	86.74	83.77	66.62
髪スタイリング	平均	154.60	232.29	167.08	213.01	193.67	185.81	165.02	235.68	155.90	231.49	154.96	235.94	160.44	233.08	164.89	217.73
	SD	168.17	161.51	174.70	164.81	175.26	165.23	174.17	155.21	173.20	157.61	169.27	160.72	170.75	160.89	168.13	169.45
デオドラント	平均	56.87	39.55	49.92	48.25	50.65	44.68	45.36	52.68	37.89	59.95	48.64	40.80	41.05	57.65	47.55	47.36
	SD	119.27	104.15	116.39	111.35	113.06	111.51	113.12	110.71	102.96	121.80	114.92	100.49	109.45	115.26	109.95	114.53
手・足・肘・膝保湿	平均	24.22	20.35	18.87	25.73	19.58	25.47	21.74	23.59	21.00	24.03	5.66	46.30	21.35	23.55	21.41	23.17
	SD	89.69	77.51	73.00	92.07	76.94	90.87	85.45	80.61	84.24	83.38	42.21	116.64	81.05	87.43	83.70	83.39
頭皮クレンジング	平均	41.38	45.55	56.36	41.71	56.67	35.56	53.33	33.52	46.56	40.64	50.96	41.52	39.44	57.25	53.77	37.12
	SD	115.52	118.19	131.59	114.04	129.50	108.73	126.72	106.06	121.37	112.11	124.48	115.66	110.10	134.06	126.45	111.27
アイトリートメント	平均	6.62	0.00	7.87	0.00	6.04	0.00	4.79	0.00	5.79	0.00	5.49	0.00	5.15	0.00	5.71	0.00
	SD	46.35	0.00	50.51	0.00	44.29	0.00	39.46	0.00	43.36	0.00	42.21	0.00	40.89	0.00	43.07	0.00
エクステンション	平均	0.83	0.00	0.98	0.00	0.75	0.00	0.60	0.00	0.72	0.00	0.68	0.00	0.64	0.00	0.71	0.00
	SD	6.55	0.00	7.14	0.00	6.26	0.00	5.57	0.00	6.13	0.00	5.96	0.00	5.78	0.00	6.09	0.00
脱毛	平均	0.83	13.68	2.96	9.80	2.33	13.47	7.20	8.41	3.68	12.39	8.29	0.02	3.22	14.41	7.14	8.05
	SD	6.55	63.62	15.85	59.19	13.92	66.04	42.19	55.01	18.15	66.62	45.07	0.14	17.14	71.54	44.57	49.17
整眉	平均	45.41	40.41	37.55	40.51	44.26	32.03	36.38	42.57	34.42	43.42	39.72	28.74	27.33	55.41	37.15	39.46
	SD	93.47	63.29	77.39	69.62	82.04	58.89	66.74	82.13	69.88	74.83	79.15	41.10	56.13	89.31	68.90	75.84
カラーリング	平均	20.68	3.29	10.23	12.08	19.01	2.24	11.03	11.11	13.03	8.69	12.64	9.10	11.22	10.63	7.85	14.88
	SD	78.17	6.17	50.39	59.03	74.70	5.29	55.05	54.92	60.38	47.50	58.77	49.67	57.07	50.96	43.02	66.38
バック	平均	9.10	2.84	10.89	3.79	8.71	4.19	9.11	1.55	8.29	4.47	6.49	6.81	7.27	5.33	8.78	3.73
	SD	47.32	10.85	51.47	15.66	45.23	17.10	42.20	8.01	44.31	17.50	42.54	20.30	41.82	18.77	44.30	16.37
パーマ	平均	0.92	1.26	1.79	0.67	1.23	0.97	1.07	1.18	1.49	0.64	1.12	1.11	1.09	1.12	1.27	0.88
	SD	6.55	5.44	7.93	4.30	6.85	4.93	6.19	5.67	6.90	4.69	6.53	5.28	6.41	5.28	6.79	4.84
オイルコントロール	平均	56.08	67.19	67.32	59.96	71.32	50.71	67.83	48.00	53.76	70.20	56.20	70.26	60.28	62.39	67.11	53.66
	SD	123.53	124.50	125.84	125.50	133.87	112.34	130.85	110.19	118.26	131.58	118.99	132.49	121.72	128.11	127.10	120.13

Table 6 男性の化粧行動と個人差要因 (分散分析結果: F値と有意水準)

	社会的スキル	男性性	女性性	公的自意識	私的自意識	内的他者意識	外的他者意識	空想的他者意識
顔保湿	0.26	0.05	2.26	0.05	0.61	0.00	0.50	0.24
ベースメイク	2.23	0.06	0.01	0.24	0.02	1.44	1.27	1.64
髪トリートメント	3.23	0.06	0.79	3.57	0.36	0.07	1.08	0.47
唇保湿	2.08	1.34	0.48	0.61	0.03	1.82	1.13	1.55
UV予防	0.61	2.15	1.05	0.24	0.11	0.01	0.50	1.53
香水	2.34	0.66	2.58	5.67 *	0.01	0.21	0.18	0.01
マニキュア	1.59	0.94	0.47	0.14	1.18	0.31	0.24	1.17
顔クレンジング	2.59	1.07	2.63	0.34	0.16	3.98 *	3.06	0.25
アイメイク	1.10	1.42	0.90	0.50	0.82	0.71	0.63	0.81
歯のホワイトニング	0.38	0.60	3.02	0.21	0.00	0.05	1.19	2.16
ピアス/イヤリング	6.56 *	1.35	0.56	0.59	0.26	1.26	0.19	0.53
髪スタイリング	7.33 **	2.30	0.07	5.16 *	6.69 *	7.53 **	5.92 *	3.20
デオドラント	0.79	0.01	0.09	0.12	1.26	0.16	0.69	0.00
手・足・肘・膝保湿	0.07	0.20	0.16	0.01	0.04	7.81 **	0.02	0.01
頭皮クレンジング	0.04	0.45	1.01	0.79	0.08	0.19	0.69	0.63
アイトリートメント	1.41	1.83	1.15	0.65	1.05	0.91	0.81	1.04
エクステンション	1.10	1.42	0.90	0.50	0.82	0.71	0.63	0.81
脱毛	2.55	0.67	1.87	0.02	1.13	1.81	1.82	0.01
整眉	0.13	0.05	0.94	0.21	0.51	0.87	4.93 *	0.03
カラーリング	3.40	0.03	3.11	0.00	0.20	0.13	0.00	0.54
バック	1.14	1.27	0.55	1.39	0.39	0.00	0.10	0.69
パーマ	0.11	1.07	0.06	0.01	0.64	0.00	0.00	0.14
オイルコントロール	0.26	0.11	0.90	0.74	0.57	0.40	0.01	0.38

*** p < .001, ** p < .01, * p < .05

自意識の高群は低群に比べ「香水」を行っていないことがわかった。「顔クレンジング」が、内的他者意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、内的他者意識の高群は低群に比べ「顔クレンジング」を一層行っていることがわかった。「ピアス/イヤリング」が、社会的スキルとの5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルの高群は低群に比べ「ピアス/イヤリング」を一層行っていることがわかった。「髪スタイリング」が、社会的スキルや内的他者意識との1%水準の、公的自意識や私的自意識や外的他者意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルや公的自意識や私的自意識や外的他者意識や内的他者意識の高群は低群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。「手・足・肘・膝保湿」が、内的他者意識との1%水準の有意な主効果を示した。すなわち、内的他者意識の高群は低群に比べ「手・足・肘・膝保湿」を一層行っていることがわかった。「整眉」が、外的他者意識との5%水準の有意な主効果

を示した。すなわち、外的他者意識の高群は低群に比べ「整眉」を一層行っていることがわかった。男性性と女性性の交互作用は、「オイルコントロール」において5%水準で有意であった (F (3,101) = 2.907 p < 5%)。しかしながら Bonferroni の多重比較の結果、有意差はみられなかった。公的自意識と私的自意識の交互作用は、「髪スタイリング」において5%水準で有意であった (F (3,105) = 2.952 p < 5%)。Bonferroni の多重比較の結果、公的自意識と私的自意識のともに高群はともに低群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。内的他者意識と外的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」において5%水準で有意であった (F (3,105) = 3.698 p < 5%)。Bonferroni の多重比較の結果、内的他者意識と外的他者意識のともに高群はともに低群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。内的他者意識と空想的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」において5%水準で有意であり (F (3,105) = 3.219 p < 5%)、「手・足・肘・

膝保湿」において5%水準で有意であった ($F(3.105) = 2.908$ $p < 5\%$)。しかしながら Bonferroni の多重比較の結果、「髪スタイリング」「手・足・肘・膝保湿」とも有意差はみられなかった。外的他者意識と空想的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」において5%水準で有意であった ($F(3.107) = 3.031$ $p < 5\%$)。Bonferroni の多重比較の結果、外的他者意識と空想的他者意識のともに高群はともに低群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」において5%水準で有意であり ($F(7.101) = 2.236$ $p < 5\%$)、「手・足・肘・膝保湿」において5%水準で有意であった ($F(7.101) = 2.764$ $p < 5\%$)。Bonferroni の多重比較の結果、「髪スタイリング」については有意差はみられなかったものの、「手・足・肘・膝保湿」について内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識のともに高群はともに低群と、内的他者意識と外的他者意識がともに低く空想的他者意識が高い群、内的他者意識と空想的他者意識がともに低く外的他者意識が高い群、内的他者意識が低く外的他者意識と空想的他者意識がともに高い群に比べ「手・足・肘・膝保湿」を一層行っていることがわかった。内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識の交互作用は、「カラーリング」において1%水準で有意であった ($F(7.101) = 3.186$ $p < 1\%$)。Bonferroni の多重比較の結果、内的他者意識と空想的他者意識がともに低く外的他者意識が高い群は内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識がともに低群やともに高群に比べ「カラーリング」を一層行っていることがわかった。

次に Table 7 に女性の個人差要因別平均値と標準偏差、Table 8 に女性の化粧行動と個人差要因による差異に関する分散分析結果 (F 値と有意水準) を示す。「ベースメイク」が、社会

的スキルとの5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルの高群は低群に比べ「ベースメイク」を一層行っていることがわかった。「唇保湿」が、男性性や女性性や公的自意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、男性性や女性性や公的自意識の高群は低群に比べ「唇保湿」を一層行っていることがわかった。「顔クレンジング」が、社会的スキルとの1%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルの高群は低群に比べ「顔クレンジング」を一層行っていることがわかった。「アイメイク」が、社会的スキルとの0.1%水準の、外的他者意識との1%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルや外的他者意識の高群は低群に比べ「アイメイク」を一層行っていることがわかった。「ピアス/イヤリング」が、社会的スキルや女性性や外的他者意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルや外的他者意識の高群は低群に比べ「ピアス/イヤリング」を一層行い、女性性的高群は低群に比べ「ピアス/イヤリング」を行っていないことがわかった。「髪スタイリング」が、社会的スキルとの1%水準の有意な主効果を示した。すなわち、社会的スキルの高群は低群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。「頭皮クレンジング」が、女性性との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、女性性的高群は低群に比べ「頭皮クレンジング」を行っていないことがわかった。「整眉」が、女性性との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、女性性的高群は低群に比べ「整眉」を行っていないことがわかった。「パック」が、外的他者意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、外的他者意識の高群は低群に比べ「パック」を行っていないことがわかった。「パーマ」が、外的他者意識との5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、外的他者意識の高群は低群に

Table 7 女性の化粧行動の平均値と標準偏差(個人差要因別)

		社会的スキル		男性性		女性性		公的自意識		私的自意識		内的他者意識		外的他者意識		空想的他者意識	
		低群	高群	低群	高群												
顔保湿	平均	281.98	306.36	305.75	283.90	298.75	300.54	289.33	309.85	301.93	294.01	296.56	295.35	287.29	305.39	295.29	298.18
	SD	142.06	126.59	128.39	139.35	133.29	129.26	139.18	121.76	130.76	134.04	134.89	133.06	140.43	125.98	134.37	132.51
ベースメイク	平均	245.11	297.05	281.57	253.68	262.20	276.70	256.02	286.51	282.75	262.00	268.47	267.69	251.07	289.70	267.51	269.65
	SD	153.32	128.69	139.71	149.08	146.21	140.34	151.31	131.08	135.33	146.85	147.15	142.42	148.69	136.03	145.23	143.23
髪トリートメント	平均	248.52	242.17	245.10	249.72	248.53	250.62	268.77	229.52	259.72	234.69	265.16	229.15	242.66	251.87	260.70	235.38
	SD	148.21	152.06	149.98	151.07	149.56	149.33	144.30	150.69	144.10	153.50	142.68	155.18	148.86	151.36	147.94	150.00
唇保湿	平均	279.44	303.36	273.07	319.35	272.27	319.28	274.02	316.92	283.06	311.27	279.10	309.75	291.09	297.12	285.21	304.06
	SD	149.54	133.61	153.67	115.11	153.16	118.17	156.03	115.36	149.39	123.03	147.03	130.36	144.03	135.49	144.28	133.93
UV予防	平均	173.71	219.88	195.82	200.35	194.40	205.64	186.55	216.89	204.04	204.86	205.08	191.44	195.49	206.07	203.94	196.90
	SD	162.30	166.02	165.23	166.11	165.69	164.68	161.73	166.46	166.71	162.72	160.69	168.88	163.87	165.28	159.62	169.71
香水	平均	91.55	105.01	93.45	98.11	105.30	84.16	97.31	93.61	87.56	99.23	95.48	90.98	85.08	99.07	81.60	106.60
	SD	144.36	142.43	142.44	142.85	146.20	138.26	146.90	139.06	139.98	143.34	149.51	132.68	140.66	141.44	139.76	143.97
マニキュア	平均	52.72	61.24	57.87	52.57	45.61	60.25	54.32	60.08	74.54	46.18	52.24	57.67	45.80	69.71	58.31	55.00
	SD	112.36	120.50	116.91	114.72	102.98	120.38	117.56	115.34	134.34	101.31	109.24	119.17	103.72	127.71	116.44	115.45
顔クレンジング	平均	296.94	347.81	317.73	325.86	308.10	334.73	312.01	334.51	314.77	329.53	316.15	327.74	311.09	333.36	319.91	324.55
	SD	135.90	74.48	117.13	106.76	124.75	97.52	124.67	95.27	119.30	104.01	118.07	106.96	124.95	96.98	114.79	110.00
アイメイク	平均	213.65	319.88	248.50	278.04	254.39	265.17	266.26	264.13	274.23	256.74	256.08	266.11	235.23	293.87	252.83	271.13
	SD	164.51	103.53	154.12	136.89	146.78	147.83	148.30	141.32	141.31	147.44	153.32	140.04	155.56	129.51	153.57	139.10
歯のホワイトニング	平均	82.99	101.47	92.51	102.49	103.71	86.59	104.45	87.43	102.99	92.43	106.76	83.96	98.02	93.17	97.76	95.65
	SD	153.16	162.77	159.13	164.07	164.93	155.20	165.78	155.26	165.25	158.27	166.84	152.99	161.93	159.27	162.43	160.03
ピアス/イヤリング	平均	133.74	185.91	151.44	165.25	170.75	135.85	151.33	173.72	176.11	153.04	170.08	150.23	137.06	190.81	161.66	160.34
	SD	167.20	170.78	172.73	170.12	173.01	165.67	171.64	171.06	172.61	170.17	170.65	172.19	168.38	170.87	172.55	170.67
髪スタイリング	平均	268.97	327.63	298.09	288.11	289.20	302.17	298.77	296.07	300.83	293.58	305.42	292.60	285.12	310.67	312.00	284.78
	SD	150.21	100.34	132.99	137.89	136.63	130.41	133.79	130.45	132.72	132.53	126.12	135.34	141.58	119.51	117.61	142.39
デオドラント	平均	133.86	143.73	135.23	144.25	151.80	118.75	143.46	136.04	141.13	138.31	148.56	125.24	149.88	124.16	134.28	141.70
	SD	157.21	160.70	154.73	163.87	161.52	151.15	162.76	155.63	162.85	157.94	162.78	153.54	161.74	153.95	157.38	160.37
手・足・肘・膝保湿	平均	160.41	150.56	150.76	159.63	158.14	150.75	150.56	169.11	135.92	175.81	165.89	145.29	149.83	170.61	168.71	148.19
	SD	167.65	161.02	163.59	165.69	167.67	161.07	166.70	162.70	158.77	167.47	167.53	160.07	164.09	165.63	168.80	160.29
頭皮クレンジング	平均	97.52	90.23	89.69	97.79	116.17	69.02	80.21	103.10	88.89	96.03	97.27	82.05	100.34	74.13	89.86	91.98
	SD	155.11	150.78	152.09	158.45	164.51	140.03	146.13	160.50	154.99	154.44	158.98	145.66	155.47	145.91	153.26	153.81
アイトリートメント	平均	48.90	38.20	37.57	56.11	41.63	41.36	54.00	37.91	56.72	38.83	49.35	37.54	54.59	36.11	52.74	37.91
	SD	123.39	111.10	109.10	132.12	114.72	115.29	128.85	110.50	132.95	110.51	125.32	108.39	129.31	108.25	127.59	110.50
エクステンション	平均	12.04	8.97	7.32	10.92	8.76	9.06	8.73	9.07	11.39	7.31	8.82	4.64	12.47	5.04	12.77	4.97
	SD	64.84	54.89	50.63	60.58	53.73	56.99	55.98	54.61	61.01	51.36	54.59	39.88	65.88	40.40	67.36	39.07
脱毛	平均	98.08	97.72	90.23	109.40	106.66	93.41	106.37	92.27	95.03	102.44	100.69	94.35	101.90	94.84	112.91	85.31
	SD	114.74	120.58	106.42	127.70	123.48	108.25	119.12	114.25	113.39	119.75	118.57	111.71	118.96	114.35	124.20	106.79
整眉	平均	126.68	142.83	136.85	133.75	151.23	114.72	128.81	144.74	132.48	140.08	142.52	125.25	135.97	135.92	140.66	130.66
	SD	111.98	119.28	113.81	122.16	128.99	96.88	111.11	122.71	109.45	124.07	117.45	115.74	122.62	112.96	122.91	111.98
カラーリング	平均	23.56	16.60	21.76	19.31	19.85	22.51	25.69	16.85	30.11	14.74	20.08	17.80	24.30	17.63	28.70	13.38
	SD	81.99	65.94	78.06	72.72	74.10	78.75	86.03	65.56	92.94	62.04	75.34	67.47	83.27	67.81	92.70	53.93
バック	平均	28.41	26.85	28.23	25.42	29.60	24.88	32.92	22.90	32.75	24.50	27.62	23.24	37.54	16.53	35.52	19.91
	SD	67.50	67.59	72.39	62.05	68.12	69.34	79.51	56.23	75.91	63.48	68.34	58.18	84.82	42.48	86.56	42.71
パーマ	平均	8.56	11.94	11.70	8.83	10.87	10.32	11.99	9.38	13.54	8.70	13.47	3.32	18.82	1.76	15.57	5.66
	SD	53.14	56.68	61.52	46.40	55.53	56.85	58.07	54.24	63.03	51.24	66.05	17.17	76.86	3.13	68.90	38.65
オイルコントロール	平均	181.55	219.48	199.56	193.92	226.70	168.65	198.08	206.74	196.17	207.98	188.67	209.15	203.97	195.96	205.44	195.76
	SD	168.36	161.64	162.42	169.63	159.61	165.57	165.29	165.66	164.82	164.92	164.49	166.29	167.27	164.53	164.62	166.56

比べ「パーマ」を行っていないことがわかった。「オイルコントロール」が、女性性と5%水準の有意な主効果を示した。すなわち、女性性の高群は低群に比べ「オイルコントロール」を行っていないことがわかった。男性性と女性性の交互作用は、「唇保湿」と1%水準で有意であり (F (3,145) = 3.954 p < 1%)、「オイル

コントロール」と5%水準で有意であった (F (3,145) = 3.060 p < 5%)。Bonferroniの多重比較の結果、「唇保湿」について、男性性が低く女性性が高い群は男性性と女性性がともに低群に比べ「唇保湿」を一層行っており、男性性と女性性がともに低群は男性性が低く女性性が高い群に比べ「オイルコントロール」を一層

Table 8 女性の化粧行動と個人差要因（分散分析結果：F値と有意水準）

	社会的スキル	男性性	女性性	公的自意識	私的自意識	内的他者意識	外的他者意識	空想的他者意識
顔保湿	1.48	1.14	0.01	1.07	0.15	0.00	0.79	0.02
ベースメイク	6.06 *	1.60	0.44	2.01	0.88	0.00	3.16	0.01
髪トリートメント	0.08	0.04	0.01	3.06	1.16	2.53	0.16	1.26
唇保湿	1.28	4.69 *	5.01 *	4.26 *	1.82	2.10	0.08	0.80
UV予防	3.58	0.03	0.20	1.48	0.00	0.30	0.18	0.08
香水	0.40	0.05	0.95	0.03	0.28	0.04	0.43	1.36
マニキュア	0.24	0.09	0.74	0.11	2.48	0.10	1.84	0.04
顔クレンジング	9.60 **	0.22	2.40	1.79	0.74	0.46	1.70	0.07
アイメイク	23.76 ***	1.71	0.23	0.01	0.60	0.20	7.19 **	0.68
歯のホワイトニング	0.62	0.16	0.49	0.49	0.18	0.87	0.04	0.01
ピアス/イヤリング	4.32 *	0.27	1.82 *	0.74	0.75	0.58	4.34 *	0.00
髪スタイリング	9.43 **	0.23	0.41	0.02	0.12	0.42	1.63	1.89
デオドラント	0.17	0.14	1.92	0.09	0.01	0.94	1.14	0.10
手・足・肘・膝保湿	0.16	0.12	0.09	0.55	2.46	0.68	0.69	0.68
頭皮クレンジング	0.10	0.12	4.06 *	0.96	0.09	0.43	1.30	0.01
アイトリートメント	0.37	1.03	0.00	0.78	0.92	0.44	1.03	0.68
エクステンション	0.12	0.18	0.00	0.00	0.22	0.33	0.78	0.89
脱毛	0.00	1.16	0.56	0.63	0.17	0.13	0.16	2.49
整眉	0.88	0.03	4.34 *	0.80	0.17	0.95	0.00	0.32
カラーリング	0.39	0.04	0.05	0.58	1.68	0.04	0.33	1.80
バック	0.02	0.07	0.20	0.92	0.59	0.20	4.14 *	2.31
パーマ	0.17	0.11	0.00	0.09	0.30	1.86	4.08 *	1.39
オイルコントロール	2.39	0.05	5.50 *	0.12	0.21	0.66	0.10	0.15

*** p < .001, ** p < .01, * p < .05

行っていることがわかった。内的他者意識と外的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」と5%水準で有意であった ($F(3.145) = 3.093$ $p < 5\%$)。Bonferroniの多重比較の結果、内的他者意識と外的他者意識のともに高群は内的他者意識が高く外的他者意識が低い群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識の交互作用は、「髪スタイリング」と5%水準で有意であった ($F(7.141) = 2.368$ $p < 5\%$)。Bonferroniの多重比較の結果、内的他者意識と外的他者意識と空想的他者意識がともに低群は内的他者意識と空想的他者意識がともに高く外的他者意識が低い群に比べ「髪スタイリング」を一層行っていることがわかった。

さらに化粧行動を規定する個人差要因を明らかにするため、男女別に化粧行動のそれぞれを目的変数とし、個人差要因を説明変数とするStepwiseによる変数選択法を用いて重回帰分析を行った。

男性では (Table 9)、「髪トリートメント」について公的自意識が5%水準で、「唇保湿」について外的他者意識が1%水準で、「UV予防」について社会的スキルが0.1%水準、男性性が1%水準で、「マニキュア」について外的他者意識が5%水準で、「髪スタイリング」について男性性や外的他者意識が5%水準で、「手・足・肘・膝保湿」について内的他者意識が5%水準で有意に選択された。他方、女性では (Table 10)、「ベースメイク」について外的他者意識が1%水準で、「髪トリートメント」について内的他者意識が1%水準、男性性が5%水準で、「唇保湿」について社会的スキルが1%水準、公的自意識が5%水準で、「マニキュア」について私的自意識が5%水準で、「アイメイク」について外的他者意識が0.1%水準、社会的スキルが1%水準で、「ピアス/イヤリング」について外的他者意識が1%水準で、「髪スタイリング」について空想的他者意識や社会的スキルが1%水準、外的他者意識や男性性が

Table 9 男性の化粧行動の個人差要因の重回帰分析結果 (stepwise法: 標準偏回帰係数と決定係数)

髪トリートメント				唇保湿				UV予防			
		標準β	t値			標準β	t値			標準β	t値
公的自意識		0.21	2.34 *	外的他者意識		0.23	2.66 **	社会的スキル		0.44	4.06 ***
R^2		0.04	*	R^2		0.05	**	男性性		-0.32	-2.95 **
								R^2		0.12	***
マニキュア				髪スタイリング				手・足・肘・膝保湿			
		標準β	t値			標準β	t値			標準β	t値
外的他者意識		0.19	2.12 *	男性性		0.23	2.59 *	内的他者意識		0.19	2.18 *
R^2		0.04	*	外的他者意識		0.20	2.33 *	R^2		0.04	*
				R^2		0.11	**				

*** p < .001, ** p < .01, * p < .05

Table 10 女性の化粧行動の個人差要因の重回帰分析結果 (stepwise法: 標準偏回帰係数と決定係数)

ベースメイク				髪トリートメント				唇保湿			
		標準β	t値			標準β	t値			標準β	t値
外的他者意識		0.19	2.65 **	内的他者意識		-0.23	-3.14 **	社会的スキル		0.25	3.48 **
R^2		0.04	**	男性性		0.14	1.99 *	公的自意識		0.16	2.28 *
				R^2		0.07	**	R^2		0.08	**
マニキュア				アイメイク				ピアス/イヤリング			
		標準β	t値			標準β	t値			標準β	t値
私的自意識		-0.16	-2.19 *	外的他者意識		0.26	3.63 ***	外的他者意識		0.19	2.65 **
R^2		0.03	*	社会的スキル		0.20	2.80 **	R^2		0.04	**
				R^2		0.10	***				
髪スタイリング				オイルコントロール							
		標準β	t値			標準β	t値				
空想的他者意識		-0.24	-3.17 **	女性性		-0.16	-2.12 *				
社会的スキル		0.23	2.99 **	R^2		0.02	*				
外的他者意識		0.19	2.54 *								
男性性		-0.19	-2.37 *								
R^2		0.11	***								

*** p < .001, ** p < .01, * p < .05

5%水準で、「オイルコントロール」について女性性が5%水準で有意に選択された。

以上の結果から部分的ではあるが、男性の化粧行動を社会的スキル、男性性、公的自意識、内的他者意識、外的他者意識が規定し、女性の化粧行動を社会的スキル、男性性、女性性、公的自意識、私的自意識、内的他者意識、外的他者意識、空想的他者意識が規定することがわかった。

IV 考察

1) 化粧行動の評定平均値を検討した結果、多くの化粧行動に男女差のあることが判明した。行動回数について化粧行動の可逆性や不可逆性を考慮すれば、男性がほぼ毎日行う化粧行動は「髪スタイリング」のみであり、多くの化粧行動について習慣性のないことがわかった。他方、女性がほぼ毎日行う化粧行動は「顔クレンジング」「顔保湿」「唇保湿」「ベースメイク」「アイメイク」などであり、顔ケアやメイクアップに

関する化粧行動で習慣性のあることがわかった。平松・牛田¹⁹の男女大学生の化粧行動を検討した結果によれば、男性では相対的にメイクアップ・技術者加工が低く、オーラルケア・整髪が高いこと、他方、女性では技術者加工が低く、ケア・メイクアップや髪加工が相対的に高いことが明らかとなっている。本研究においても、男女において「ベースメイク」「アイメイク」というメイクアップに関する化粧行動で差が大きなことから、男性はメイクアップについてまだまだ行っていないことがわかった。しかしながら、「カラーリング」「パーマ」「エクステンション」という髪に関する化粧行動や「香水」「歯のホワイトニング」「頭皮クレンジング」という香りや汚れ除去に関する化粧行動については男女差が小さいことから、これらの行動は回数少ないものの、相対的に男女で同様に行われている化粧行動であることがわかった。

2) 男女別に化粧行動と個人差要因との関連性について検討を行った結果、男性の「髪トリートメント」について公的自意識、「唇保湿」について外的他者意識、「UV予防」について社会的スキルや男性性(-)、「マニキュア」について外的他者意識、「髪スタイリング」について男性性や外的他者意識、「手・足・肘・膝保湿」について内的他者意識が規定していることがわかった。男性では、自意識について公的自意識が先行研究⁶⁻⁹と同様、化粧行動と関連していることから、概して他者からみられる自己を意識する程度の高さが化粧行動を規定していることがわかった。また性役割について先行研究⁹では、男性性と正の関連を明らかにしているが、本研究では「UV予防」と負の関連がみられたことから、概して化粧行動による男らしさの演出性の低さが化粧行動を規定していることがわかった。その理由として、一般的には現代は男女平等のもと社会的にもファッションにおいてもジェンダーフリーであるといわれている。

このことから、村澤²⁰も指摘しているように男性による男らしさの演出のための化粧利用に至る心理作用として男性性が関連していると考えられる。そのため、「UV予防」は日焼けという男らしさである作動性の表現とは負の化粧表現であるため「UV予防」について男性性は負の関連がみられたと推測される。さらに、社会的スキルについても先行研究¹⁰と同様、化粧行動と関連していることから、概して、対人関係に関するスキルの高さが化粧行動を規定していることがわかった。他者意識については、内的他者意識と外的他者意識が化粧行動と関連していることから、概して、他者の内面や外面を意識する程度の高さが化粧行動を規定していることがわかった。その理由として、外的他者意識や内的他者意識における他者とは現前する他者であることから、同性や異性の友人などの他者に対する外面への意識と他者が自己についてどのように考えているのかという内面への意識が化粧行動に関連していると推測される。

他方、女性の「ベースメイク」について外的他者意識、「髪トリートメント」について内的他者意識(-)や男性性、「唇保湿」について社会的スキルや公的自意識、「マニキュア」について私的自意識(-)、「アイメイク」について外的他者意識や社会的スキル、「ピアス/イヤリング」について外的他者意識、「髪スタイリング」について空想的他者意識(-)や社会的スキルや外的他者意識や男性性(-)、「オイルコントロール」について女性性(-)が規定していることがわかった。女性では、自意識について公的自意識が先行研究⁶⁻⁹と同様、化粧行動と関連していることから、概して他者からみられる自己を意識する程度の高さが化粧行動を規定していることがわかった。私的自意識については、これまで化粧行動との関連は松井⁸が私的自意識と基礎化粧品と正の関連を明らかにしているが、本研究では負の関連ではあるものの「マニ

キュア」との関連が明らかとなったことから、概して、自分の内面や気分を意識する程度の低くさが化粧行動を規定していることがわかった。その理由について、化粧とは外面を飾り、また外面を利用しての自己や他者に対する効果を目的とする行動であるため、内面への意識とは負の関連がみられたと推測される。性役割について、平松・牛田⁹は女性性と正の関連を明らかにしているが、本研究では、男性性や女性性との関連が明らかとなったことから、概して男性性や女性性の高さが化粧行動を規定していることがわかった。その理由として、髪ケア・髪メイクに関する「髪トリートメント」や「髪スタイリング」について男性性、スキンケアに関する「オイルコントロール」について女性性が関連していることから、化粧行動により規定される性役割が異なるためと推測される。他者意識については、内的他者意識や外的他者意識や空想的他者意識が化粧行動と関連していることから、他者の内面を意識する程度の低さや他者の外面を意識する程度の高さ、他者の空想的イメージを想像する程度の低さが化粧行動を規定していることがわかった。その理由として、女性は内面より外見を重視する傾向にあるため²¹、現前する他者の内面や現前しない他者のイメージよりも現前する他者の外面、すなわち他者の化粧への意識がより関連していると推測される。

V ま と め

本研究で得られた知見を要約すると以下のようになる。

1) 男性がほぼ毎日行う化粧行動は「髪スタイリング」のみであり、多くの化粧行動について習慣性のないことがわかった。他方、女性がほぼ毎日行う化粧行動は「顔クレンジング」「顔保湿」「唇保湿」「ベースメイク」「アイメイク」

などであり、顔ケアやメイクアップに関する化粧行動で習慣性のあることがわかった。

2) 男性の「髪トリートメント」について公的自意識、「唇保湿」について外的他者意識、「UV予防」について社会的スキルや男性性(-)、「マニキュア」について外的他者意識、「髪スタイリング」について男性性や外的他者意識、「手・足・肘・膝保湿」について内的他者意識が規定していることがわかった。他方、女性の「ベースメイク」について外的他者意識、「髪トリートメント」について内的他者意識(-)や男性性、「唇保湿」について社会的スキルや公的自意識、「マニキュア」について私的自意識(-)、「アイメイク」について外的他者意識や社会的スキル、「ピアス/イヤリング」について外的他者意識、「髪スタイリング」について空想的他者意識(-)や社会的スキルや外的他者意識や男性性(-)、「オイルコントロール」について女性性(-)が規定していることがわかった。

本研究では、男女大学生の化粧行動の実態解明と化粧行動と個人差要因との関係性について検討を行った。平松・牛田²²は化粧意識を規定する個人差要因として、他者意識の検討を行い、化粧意識と外的他者意識との関連を明らかにしているが、化粧行動については男性では内的他者意識や外的他者意識と、女性では内的他者意識や外的他者意識や空想的他者意識との関連が明らかとなった。

しかしながら、決定係数が0.30以上であれば信頼性・説明性が十分に認められるとされる多変量解析の一般的な指標に従うならば、本研究で得られた数値は相対的に小さく、今後の課題として、多様なサンプルを対象とする知見の一般性の吟味や他の個人差要因に対する検討が必要となってくるであろう。

謝 辞

日頃、御指導御鞭撻をいただき佛教大学教授
井上修一先生をはじめ諸先生方、関係各位に深
く感謝いたします。

【引用・参考文献】

- 1 実川元子, 化粧する男としない女, 化粧文化, ポーラ文化研究所, 38, 17-19 (1998)
- 2 毎日新聞, 1月4日朝刊, 13 (1995)
- 3 村澤博人, 化粧の文化誌, 高木修 (監), 化粧行動の社会心理学, 北大路書房, 47-63 (2001)
- 4 鮑戸弘, 経済心理学 —マーケティングと広告のための心理学, 朝倉書店, 85-95 (1982)
- 5 松井豊ら, マーケティング・リサーチ, 21, 30-41 (1983)
- 6 Cash, T. F. & Cash, D. W., International Journal of Cosmetic Science, 4, 1-14 (1982)
- 7 Miller, L. C. & Cox, L. C., Personality and Social Psychology Bulletin, 8, 748-751 (1982)
- 8 松井豊, パッケージ性格の心理5 —自分の性格と他人の性格, プレーン出版, 55-66 (1986)
- 9 平松隆円・牛田聡子, 繊維製品消費科学, 44 (11), 69-75 (2003)
- 10 大坊郁夫, 日本グループダイナミックス学会第39回大会発表論集, 115-116 (1991)
- 11 Goldstein, A. P., et al, Teaching Social Skills, Pergamon Press (1986)
- 12 菊地章夫, 思いやりを科学する, 川島書店 (1988)
- 13 東清和・鈴木淳子, 心理学研究, 62, 270-276 (1991)
- 14 東清和, 早稲田大学教育学部学術研究, 39, 25-26 (1990)
- 15 東清和, 早稲田大学教育学部学術研究, 40, 61-71 (1991)
- 16 Fenigstein, A., et all, Journal of Consulting and Clinical Psychology, 43, 522-527 (1975)
- 17 菅原健介, 心理学研究, 55, 184-188 (1984)
- 18 辻平治郎, 自己意識と他者意識, 北大路書房 (1993)
- 19 平松隆円・牛田聡子, 繊維製品消費科学, 44 (11), 58-68 (2003)
- 20 村澤博人, 20世紀末の男性化粧から, 化粧文化, ポーラ文化研究所, 40, 46-52 (2000)
- 21 ポーラ文化研究所, データからみた女性のおしゃれ意識の10年, 化粧文化, ポーラ文化研究所, 38, 55-66 (1998)
- 22 平松隆円・牛田聡子, 繊維製品消費科学, 45 (11), 63-70 (2004)